

# 令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立鍋島小学校

4月から5月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

**調査期日** 令和8年4月23日（木）

（注）質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

**調査の対象学年** 小学校第6学年

## 調査の内容

### （1）教科に関する調査

国語、算数

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うている。

### （2）質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 児童生徒に対する質問 | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査       |
| 学校に対する質問   | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

## 教科に関する調査結果及び考察について

・全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」です。  
したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

質問  
調査

## 佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

## 《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

| 質問<br>番号 | 質問事項                                                  | 本校<br>(%) | 全国<br>(%) |
|----------|-------------------------------------------------------|-----------|-----------|
| 39       | 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた             | 88.7      | 77.6      |
| 42       | 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている | 92.7      | 85.7      |
| 46       | 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる      | 95.9      | 91.4      |

## 本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

◎生徒が「自分で考え、自分から取り組む」姿勢が全国より大きく育っています。

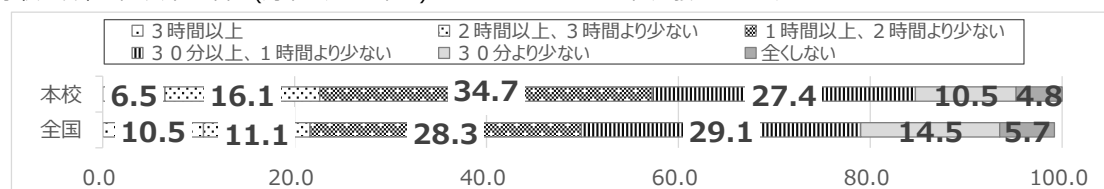
◎話し合い活動が形だけでなく、思考の深化や新しい視点の獲得につながっていると児童が実感しています。

●どの項目も全国よりも高いが、「学び方を工夫する力」「学習を改善する力」が自校内で相対的に低いので協働学習の強さを、個人の学びの質向上につなげる必要がある。

## 《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

|    |                                                      |      |      |
|----|------------------------------------------------------|------|------|
| 22 | 分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか    | 89.5 | 79.4 |
| 43 | 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか | 91.1 | 78.4 |

23 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間勉強していますか



## 《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

|    |                                 |      |      |
|----|---------------------------------|------|------|
| 8  | 自分には、よいところがあると思う                | 87.9 | 85.6 |
| 10 | 将来の夢や目標を持っている                   | 88.7 | 81.8 |
| 15 | 学校に行くのは楽しいと思う                   | 87.1 | 85.7 |
| 21 | 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか | 94.4 | 92.5 |

## 本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

◎児童が自分を肯定し、未来に希望を持ち、学校生活に満足しています。これは学級経営・教師の関わり・学校の雰囲気が非常に良いことが分かります。

◎「地域や社会をよくしたい」の項目で全国を上回っています。前向きに行動する力が身に付いています。

●どの項目も全国よりは総じて高いが、学校としてキャリア教育や社会参加を増やして行動する機会を設けていく必要があります。

## 《質問領域：向社会性》

|    |                         |      |      |
|----|-------------------------|------|------|
| 14 | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか     | 97.5 | 95.8 |
| 33 | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う | 90.3 | 80.1 |

## 調査結果を受けて

## 【学校では】

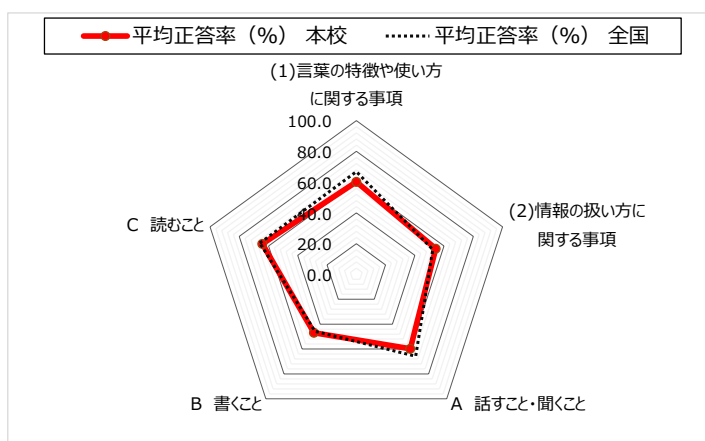
- 主体性を伸ばすための3つの力「自律」「尊重（自由の相互承認）」「創造」を育んでいきます。「学校に行くのは楽しい」と子どもたちが思えるように、主体的、対話的で深い学びの視点で、日々授業改善を行って授業づくりをしています。
- 自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力を育むため、課題解決のために自分に合う学び方やペースを選択できるように取り組みます。

## 【ご家庭では】

- 「尊重」の力を育むためには、お子さんが困っているときには、大人の伴走支援（①どうしたの？②あなたは どうしたい？③私に何かできることはある？）で関わるのが大切です。
- 「家庭学習の手引き」をご覧になり、学習時間のめやすや、学習の進め方を参考に、自分で決めて学習できるように励ましてください。

## 《学習指導要領の内容別 平均正答率》

| 学習指導要領の内容                |                        | 平均正答率 (%) |      |
|--------------------------|------------------------|-----------|------|
|                          |                        | 本校        | 全国   |
| 知識及び技能                   | (1)言葉の特徴や使い方に<br>関する事項 | 60.2      | 66.8 |
|                          | (2)情報の扱い方に<br>関する事項    | 54.3      | 52.3 |
| 思考力、<br>判断力、<br>表現力<br>等 | A 話すこと・聞くこと            | 59.8      | 65.8 |
|                          | B 書くこと                 | 46.9      | 45.7 |
|                          | C 読むこと                 | 64.2      | 65.9 |



## 《問題形式別 平均正答率》

| 問題形式 | 平均正答率 (%) |      |
|------|-----------|------|
|      | 本校        | 全国   |
| 選択式  | 59.1      | 61.9 |
| 短答式  | 55.5      | 62.6 |
| 記述式  | 53.9      | 54.9 |

## 結果 ※◎ (強み)、●課題

◎「読むこと」「書くこと」「情報の扱い方」は全国並みで、筋道の通った文章になるように文章構成や展開を考える力や目的に応じて必要な情報を見つける力が概ね身に付いています。

●課題は「言葉の特徴・使い方」「話すこと・聞くこと」です。語彙や文法などの基礎言語力の積み上げ、話し合いの内容を「書く」「まとめる」ことで学力に結びつける指導が求められます。

## 《正答率の高い問題》【強み】

| 問題<br>番号 | 出題の趣旨                                                     | 平均正答率 (%) |      |
|----------|-----------------------------------------------------------|-----------|------|
|          |                                                           | 本校        | 全国   |
| 2 三ア     | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる                  | 78.0      | 80.0 |
| 1 一      | 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる | 73.2      | 73.9 |

## 《正答率の低い問題》【課題】

| 問題<br>番号 | 出題の趣旨                                    | 平均正答率 (%) |      |
|----------|------------------------------------------|-----------|------|
|          |                                          | 本校        | 全国   |
| 2 三イ     | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる | 33.1      | 45.2 |
| 2 四      | 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる | 35.4      | 33.5 |

## 調査結果を受けて

## 【学校では】

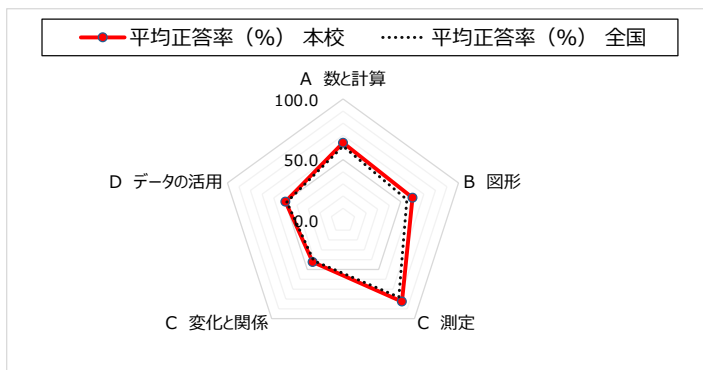
- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やしたり、インタビューや案内したりするなど、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

## 【ご家庭では】

- 音読を大切にしましょう。繰り返し音読することで、文の構成、文節ごとの区切り、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることもつながります。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、「読む」を楽しめるようになります。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、お子さんの読書習慣をつける上でおすすめです。

## 《学習指導要領の内容別 平均正答率》

| 学習指導要領の内容 | 平均正答率 (%) |      |
|-----------|-----------|------|
|           | 本校        | 全国   |
| A 数と計算    | 63.9      | 61.1 |
| B 図形      | 60.2      | 55.3 |
| C 測定      | 82.7      | 78.1 |
| C 変化と関係   | 42.3      | 41.1 |
| D データの活用  | 49.8      | 48.6 |



## 《問題形式別 平均正答率》

| 問題形式 | 平均正答率 (%) |      |
|------|-----------|------|
|      | 本校        | 全国   |
| 選択式  | 57.0      | 56.0 |
| 短答式  | 63.2      | 59.7 |
| 記述式  | 52.5      | 48.5 |

## 結果 ※◎ (強み)、●課題

◎すべての領域で全国平均を上回っており、自分の考えを、式や言葉を使って論理的に書く機会を増やすなどの授業改善の成果が表れていると考えられます。

●課題は「変化と関係」が弱いようで、規則性や関係性の理解です。式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させることで、実感を伴った理解ができるようにすることが重要であると捉えています。

## 《正答率の高い問題》【強み】

| 問題番号     | 出題の趣旨                                                      | 平均正答率 (%) |      |
|----------|------------------------------------------------------------|-----------|------|
|          |                                                            | 本校        | 全国   |
| 3<br>(1) | 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる | 95.3      | 94.5 |
| 1<br>(1) | 立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる                           | 89.8      | 72.2 |

## 《正答率の低い問題》【課題】

| 問題番号     | 出題の趣旨                                    | 平均正答率 (%) |      |
|----------|------------------------------------------|-----------|------|
|          |                                          | 本校        | 全国   |
| 4<br>(3) | 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる         | 15.0      | 17.9 |
| 2<br>(4) | 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる | 29.1      | 34.2 |

## 調査結果を受けて

## 【学校では】

- 式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させるようにします。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。

## 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数が好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身の回りには算数を使えるものがたくさんあります。